

みずほCustomer Desk Report 2022/11/24号 (As of 2022/11/23)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	141.16	1.0311	145.43	1.1901	0.6649
SYD-NY High	141.62	1.0405	146.10	1.2080	0.6738
SYD-NY Low	139.16	1.0297	144.65	1.1873	0.6635
NY 5:00 PM	139.59	1.0395	145.05	1.2053	0.6734
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,194.06	95.96	日本2年債	-	-
NASDAQ	11,285.32	110.91	日本10年債	-	-
S&P	4,027.26	23.68	米国2年債	4.4711%	▲0.0506%
日経平均	-	-	米国5年債	3.8759%	▲0.0704%
TOPIX	-	-	米国10年債	3.6881%	▲0.0688%
シカゴ日経先物	28,355.00	5.00	独10年債	1.9190%	▲0.0615%
ロンドンFT	7,465.24	12.40	英10年債	3.0055%	▲0.1215%
DAX	14,427.59	5.24	豪10年債	3.6120%	0.0120%
ハンセン指数	17,523.81	99.40	USDJPY 1M Vol	13.69%	0.80%
上海総合	3,096.91	7.96	USDJPY 3M Vol	12.14%	0.47%
NY金	1,745.60	5.70	USDJPY 6M Vol	11.56%	0.39%
WTI	77.94	▲ 3.01	USDJPY 1M 25RR	▲0.68%	Yen Call Over
CRB指数	276.87	▲ 2.37	EURJPY 3M Vol	11.36%	0.18%
ドルインデックス	106.08	▲ 1.15	EURJPY 6M Vol	11.32%	0.06%

【昨日の指標等】

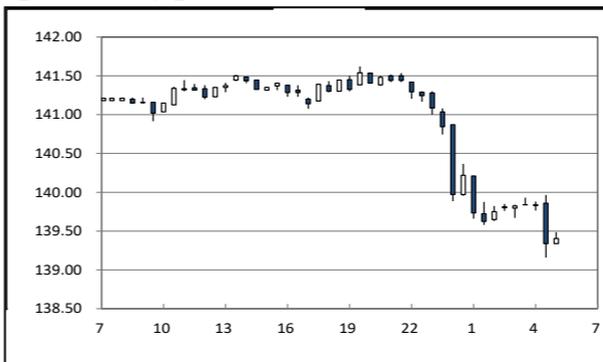
Date	Time	Event	結果	予想
11月23日	17:30	独 製造業/サービス業PMI	11月 46.7/46.4	45.0/46.2
	18:00	欧 製造業/サービス業PMI	11月 47.3/48.6	46.0/48.0
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	10月 1.0%	0.4%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	10月 0.5%	0.0%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	19-Nov 240k	225k
	23:45	米 製造業/サービス業PMI	11月 47.6/46.1	50.0/48.0
11月24日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	11月 56.8	55
	00:00	米 新築住宅販売件数	10月 632k	570k
	04:00	米 FOMC議事要旨	「利上げペース減速がまもなく適切」	

【本日の予定】

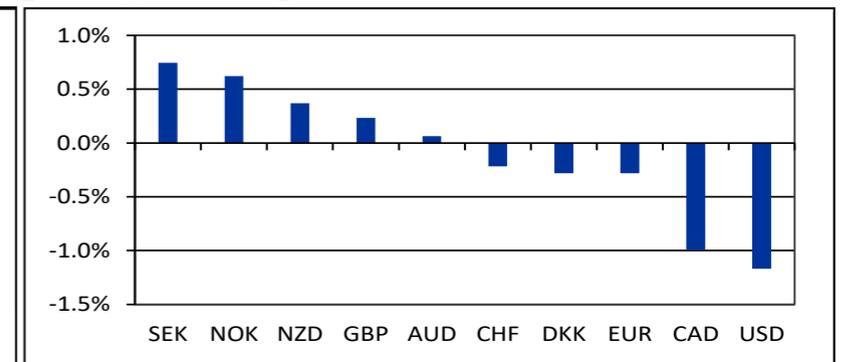
Date	Time	Event	予想	前回
11月24日	18:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	11月 85/93.9/77	84.3/94.1/75.6
	21:30	欧 ECB議事要旨	-	-

東京	アジア時間のドル円は、141.16レベルでオープン。直後に140.92まで下落した後はドル買いが優勢となったことで反発し、141円台半ばまで上昇。しかし、東京休場で薄商いの中、方向感に乏しく値幅は限定的となった。午後にかけては141円台前半から半ばにかけての狭いレンジ内で上下し、日中高値の141.51をつけた後は引けにかけて上値の重い展開。結局、141.41レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は141.41レベルでオープンし、新規材料に欠ける中、約60銭の値幅を伴って方向感なく推移。東京時間の終盤で円が買われた流れを引き継ぎ朝方は一時141.08まで下落するも、ドルの押し目買いが優勢になると今度は141.62まで上昇。その後、再びドル売りに転じ、141.29レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では日本の休場や、明日の米サックスキングを控え、ドル円は方向感のない取引が続き、141.29レベルでNYオープン。朝方は10月耐久財受注が予想を上回ったものの、新規失業保険申請件数が予想を上回り、今後の労働市場の悪化に対する懸念からドル売りが優勢となり、140.75まで下落する。その後も米11月PMI速報値が製造業、サービス業共に景気の分岐である50を引き続き下回り、予想も下回ったことから、景気先行懸念からドル売りが強まり、139.63まで下落する。午後は薄商いの中、FOMC議事録で大部分の当局者は近い時期の利上げペース減速支持等、先日の予想を下回る米CPI、PPI発表前から利上げペース減速が話し合われていたことが明らかになり、米金が利低下する動きに、ドル売りから139.16まで下落し、139.59レベルでクロスした。一方、ユーロもドル円同様方向感のない推移が続き1.0323レベルでNYオープン。朝方はドル売りにじり高で推移し、米PMI結果を受け更にドル売りが強まり1.0384まで戻す。その後しばらく1.0370付近での推移が続いたが、午後のFOMC議事録内容を受けたドル売りに1.0405まで戻し、1.0395レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.00-140.50	1.0350-1.0450	144.50-146.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は140円台を割り込む水準まで下落。141円前半でオープンした後、アジア時間については日本祝日となる中で、方向感に乏しい展開となり、レンジ推移が継続。米国時間に入り、発表された米経済指標が市場予想対比弱い結果となったことや、11月開催分のFOMC議事要旨にて、今後の米国利上げペースの減速や急速な利上げによるリスク増大に対する見解が示されたことで、米金利低下も相俟って、ドル円は急落。一時139円台前半まで値を下げる展開も、その後はじりじりと値を戻し結局139円台半ばを超えてクローズした。

本日のドル円は、上値重い展開を予想。今後の米利上げペースへの警戒感が示されたことで、目先は140円台水準を上値に再度下値を模索する展開か。米国感謝祭で祝日となる中で、相場が大きく動意付く展開は想定し難いが、市場参加者が減少している中で流動性が低下している状況下、局所的にボラタイルな動きを見せる可能性には注意が必要と考える。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 綿引・松木